



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日頃より赤十字の活動にご協力、ご支援をたまわり、有り難うございます。

昨年は、能登半島地震をはじめ各地で台風や大雨などによる災害が発生しました。日本赤十字社は、発災直後から医療救護班やこころのケアチームを被災地に派遣するとともに、自治体や赤十字ボランティアの皆さまと協力しながら、義援金の募集や救援物資の配布など様々な活動を行いました。

また、世界では気候変動に伴う自然災害の多発化や激甚化、そして絶えることのない武力紛争の影響で、多くの人々が人道危機に直面しており、日本赤十字社は、世界各国の赤十字・赤新月社と連携し、こうした人々を支えるため力を尽くしております。

この4月から大阪・関西万博が開催され、赤十字は『国際赤十字・赤新月運動館』を出展しております。万博は赤十字の理念や活動を広く知っていただく絶好の機会であります。そして、その2年後となる2027年に日本赤十字社は創立150周年を迎えます。この機会に、創立150周年から先の将来に向けて、日本赤十字社がその使命を果たし続けていくために必要な取り組みと変革を、赤十字の理念に共鳴し、その活動に携わるすべての皆さまの力を結集して進めてまいりたいと存じます。

私たち日本赤十字社は救うことを託されている団体であることを改めて確認し、皆さまの期待と信頼にこたえるべく赤十字事業を遂行してまいります。その活動はこれまでも皆さまの御支援によって可能となったものであり、これからもさらに多くの方々にご参加いただき、お力添えをたまわりたく存じます。

毎年5月は、1901年に第1回ノーベル平和賞を受賞した赤十字の創始者アンリー・デュナンの誕生日(5月8日)にちなみ、赤十字活動を普及するための「赤十字運動月間」としてしています。この機会に「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを使命とする赤十字の活動へのご理解を深めて頂ければ幸いです。皆さまには引き続き温かく力強いご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

令和7年5月

日本赤十字社 社長

清家 篤